

編集 後記

本誌の読者の関心が多様なことを反映し、本号の掲載論文のテーマも様々です。都市部在住高齢者で今後深刻になる課題と対処法を示唆した大規模な横断調査、生態学的手法を駆使してこれまでの公衆衛生施策の有効性評価に取り組んだ研究、地域の医療機関勤務者に対する感染症予防教育の課題を示唆した横断調査、地域保健の現場での被災者支援準備施策の不十分さに警鐘を鳴らした実態調査が掲載されています。どれもが、それぞれの領域の公衆衛生専門家に目を通すよう勧めたい論文です。

10月19-21日に秋田市で開催された第70回学会総会でも、様々な領域で、日常活動で経験する疑問への対処法を他の取り組みから学びたい参加者と、自らの取り組みを発展させる手がかりを得たい発表者との間で、熱気のコもった討論が行なわれました。残念なことは、第一線の意義ある取り組みが、会員が発する熱気に推進力を得て、学術論文として結実することが少ないことです。学術論文として発信することは、口頭でのやりとりでは、参加者の記憶だけにとどまりやがて消えてしまう知恵や成果を、次代の公衆衛生専門家に確実に伝えることにもなります。本誌は、現場での実践的な取り組みを論文としてまとめることを推奨し、実践面で意義が認められる論文にも教育的査読を行ないます。会員の皆様が、それぞれの現場で関与しておられる次代に伝えたい取り組みの発信に、本誌をもっと利用されることを希望します。

(安田誠史)

次号予告 (第58巻・第11号)

原著

都市部高齢者における閉じこもり予備群の類型化
介護予防対策の具体化に向けて…洪井 優, 他

研究ノート

食事バランスガイドの認知レベルの経時変化と人口統計学的特徴および健康特性との関連

……………高泉佳苗, 他

孤独死の発生ならびに予防対策の実施状況に関する全国自治体調査……………福川康之, 他

小学校高学年における首尾一貫感覚 (Sense of Coherence; SOC) の変化およびソーシャルサポートとの因果関係

1年間の縦断調査から……………朴峠周子, 他

連載

ヘルスサービスリサーチ(10)……………高橋秀人
社会と健康を科学するパブリックヘルス(12)

……………川村 孝